



3,700人がシミュレーション

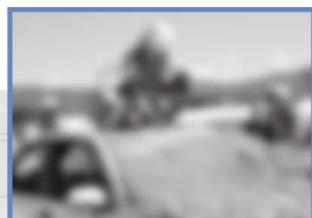
9/26 長野県総合防災訓練

長野県総合防災訓練（長野県、安曇野市主催）が9月26日、豊科南部総合公園を主会場に開かれました。訓練は、震度6強の地震による被害、山火事、豪雨による被害を想定。国・県・市、医療機関、市民団体など98団体3,700人が参加し、64項目にわたる訓練を行いました。

主会場では、初めての試みとなる災害救助犬、消防、警察、災害派遣医療チーム（DMAT）の連携訓練を実施。4機のヘリコプターを用いて、重傷者の緊急治療搬送を行うなど、各団体の連携強化を図りました。また、消防団による水防訓練や、鳥羽区、飯田区民の皆さんによる避難体験なども行われ、参加住民が主体となった訓練も幅広く行われました。宮澤市長は、「この地域は今後30年以内に14%の確率で直下型地震が発生すると推測されています。市としては被害を最小限に食い止める取り組みを推進し、市民の皆さまには、防災に対する意識を一層高めたい」と話しています。



▲4機のヘリコプターを用いた重傷者の緊急搬送など、組織間の連携強化を図りました。



◀普段見ることができない特殊な機材や車両が多数登場。訓練は本番さながらの緊張感が漂い、見学者は、その迫りに圧倒されている様子でした。



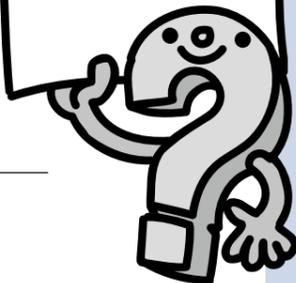
▶行政機関だけでなく、ボランティア団体なども参加。組織的な動きを実践で確認しました。



気になる 財政テーマ 1

市の借金と貯金の状況は？

よくご質問をいただく2つの事項をまとめました。



市

が誕生してから5年目の年となります。

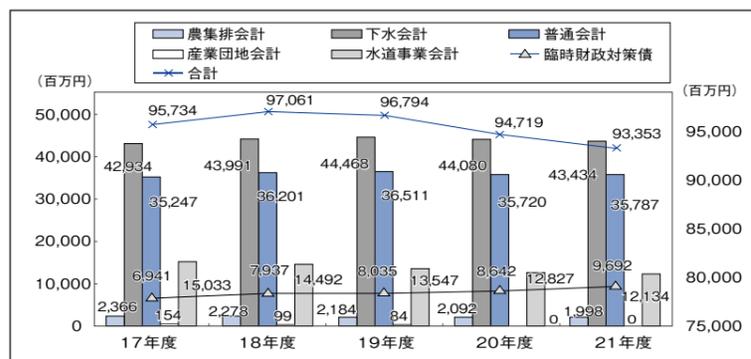
合併してからの地方債（借金）と基金（貯金）の残高はどのようになっていたのでしょうか。昨年度までの状況をお知らせします。

地方債の残高は？

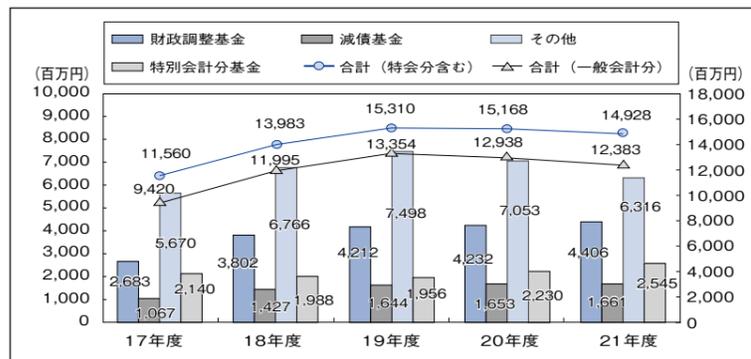
地方債の現在高（表1参照）は普通会計分として357億9000万円（人口1人当たりの残高は36万7115円）となっています。なお、下水道・水道事業等、特別会計・企業会計を合計すると933億5000万円（人口1人当たりの残高は95万7650円）となり、前年度の残高に比べ13億7000万円減額しました。

臨時財政対策債（表4参照）は、国の財源不足に対応するため、地方交付税の一部として地方公共団体が発行する地方債です。償還に要する費用は後年度の基準財政需要額に算入されま

地方債残高（表1）



基金残高（表2）



合併特例債の主な発行内訳（表3）

年度	金額(百万円)	年度	金額(百万円)
平成17年度	4.4	平成19年度	964.3
平成18年度	376.1	平成20年度	348.2
平成19年度	964.3	平成21年度	66.0
平成20年度	463.8		
平成21年度	66.0		

臨時財政対策債発行状況（表4）

年度	金額(百万円)
平成17年度	1,277.6
平成18年度	1,177.7
平成19年度	400.0
平成20年度	1,000.0
平成21年度	1,554.0

ですが、一昨年以降の景気減退により発行額は増加しています。

合併特例債（表3参照）の発行内訳は、地域振興基金の積立や給食センターや保育園・児童館、交流学習センターの建設、安曇野赤十字病院建設補助金などのため借入を行っています。

基金の残高は？

基金（表2参照）については、財政調整基金や減債基金は増加傾向ですが、目的のあるその他基金は計画に沿って取り崩しを行い事業推進しているため減少となっています。